

第50回日本生気象学会大会における発表

第50回日本生気象学会大会(京都)において、A&Dの熱中症指数モニターAD-5688の妥当性と有用性について講演発表を行いました。

- **大会長** 京都工芸繊維大学 教授 中島 敏博 先生
京都女子大学 教授 中井 誠一 先生
- **日時** 2011年1月3日(木) ~ 11月5日(土)
- **会場** 京都女子大学J校舎
〒605-8501 京都府京都市東山区今熊野北日吉町3
- **演題** 35.日射のない環境における小型で黒球を用いないWBGT測定装置の開発と比較検討
- **発表者** 株式会社エー・アンド・デイ 販売促進部 楊 曉華
- **発表要旨**

今年の夏、節電と熱中症対策の両立が問われ、熱中症発症のリスクの高い高齢者などで、冷房機器があっても使用せずに熱中症になる危険性が考えられる。施設内や居室などの日常生活や高温暑熱環境で労働安全の目的に黒球を使わない小型のWBGT指数測定装置の要求が強かった。そこで、黒球を用いない「熱中症みはりん坊AD-5688」と「みはりん坊ミニAD-5689」を設計開発した。

また、屋内におけるAD-5688のWBGT指数測定値を検討するために、WBGT標準機とAD-5688との比較測定を行った。

測定データを収集し、解析した結果、AD-5688のWBGT指数の表示値が標準機のWBGT表示値に良く追従していた。両者高い相関関係が示されました。また回帰式からも両手法の示す測定値はほぼ同値だった。日射のない屋外および屋内においてAD-5688とAD-5689は黒球を用いたWBGT指数測定装置に代わる装置であることが確かめられた。



AD-5688



AD-5689